

新ましこ未来計画外部検証委員会（経営体分野）議事録

日時	平成 30 年 5 月 28 日(月) 17:50～19:20	
場所	役場 職員休憩室	
出席者	委員	安藤委員、海老澤委員、膝附委員
	職員	加藤総務課長、日下田企画課長、富賀瀬税務課長、小宅生涯学習課係長
	事務局	吉永係長、深谷
配布資料	次第、推進シート、新ましこ未来計画の一部改訂について、事前質問・回答一覧	

発言者	発言要旨
企画課長	1. 開会 2. 出席者紹介 3. 配布資料確認 4. 案件 (1) 概要説明 総括シートにより説明
委員	(2) 施策ごとの検証 ○P.63 施策1 安定した財政運営 ふるさと納税は非常に厳しい状況かと思う。他の自治体も色々な手をつかって努力している。町でも広告掲載等しているが、今後の展望としてはどのように考えているか。
企画課長	返礼品の種類を増やすこととPRにもっと経費をかけてやっていきたいと考えている。東京都内版の新聞に年2回、お盆前と年末頃に掲載を予定している。
委員	どのような年代が寄附をしているのか。年代によって目にする雑誌等が異なっているはず。
企画課長	今日は年代別の実績データを持ち合わせていないが、平成29年度はふるさと納税専門誌（実物提示）に掲載した。イメージとしては、ネットショッピング感覚が多いと考えている。各世代が目にする媒体への掲載は、経費も掛かってくる。
委員	「今日の料理」などの専門誌に乘せるのもあるのでは。
企画課長	ご指摘の雑誌社からも広告営業があった。予算と相談しながら検討していきたい。
委員	クラフト系の返礼品は益子らしさを表現するのに大変良いと感じている。また、用途については、現状4通りあるという事だが、町では日本遺産登録を目指している

	こともあり、文化財保護は継続することに意味があるので予算化することが必要ではないか。藍染工房の日下田邸は県の文化財であるが、茅葺き屋根等の修繕は町の負担もあるため、ふるさと納税で趣旨を理解していただき資金を得ることは有効であると考えている。メディアを利用し、年末などに効果的にPR出来れば一気に寄附を頂けるのではと思うがいかがか。
企画課長	今後検討していきたい。
委員	町税徴収率について、支払いチャネルが増加しておりペイジーなどがあるため、そういった新しい支払い方によって徴収率が上がる可能性もあるので検討するといかがか。
税務課長	足銀さんから提案して頂いているヤフーアプリがあるが、納税通知書にあるバーコードをスマホで読み取って決済が可能になるという仕組みで、次年度からの導入を検討している。一方、ペイジーについては、本町は自治体の規模も小さく、費用対効果の面から導入は難しいと考えている。
委員	<u>○P.64 施策2 長期的視点に立った財政計画の策定</u> 財務書類の公表は、3月のいつをもって行ったか。
企画課長	益子町は日々仕訳をしているが、国では日々仕訳をしている自治体は3月末をもって公表することを認めており、本町も公表することができた。他の自治体ではまだ公表できていないところもある。また、本来は9月の決算が終わった時点で公表すべきものだが、連結しているものはずれも生じるためにすぐに公開できない。
委員	初年度のため時間がかかってしまったという事か。
企画課長	新しい決算方法を導入した初年度であったこともあり、仕訳に時間がかかってしまった。
委員	町債は前回68億円であったが、現在もあまり変わっていないようだ。これは、10月には予測ができるという事か。単年度で把握というよりは、ある程度のスパンで捉えているのか。
企画課長	町債残高は将来予測が容易であるため10～3月ではほとんど数値は変わらない。ただし、10年単位で利率の見直しを行うものもあるため、その時点で若干の利息の増減が出ることもある。
委員	連結決算に関連し、栃木県市町村総合事務組合とはどのような団体か。連結の方法はどのような方法か。

企画課長	総合事務組合は、退職手当の関係の事務を行っている組合である。町から退職手当分の負担金を払っており、連結方法は負担金の割合に応じて部分連結としている。
	<u>○P.65 施策1 行政経営の効率化</u>
委員	K P I は指定管理者が運営する施設数とあるが、施策や年間計画、実施内容には全く関連する内容が見えないが。
企画課長	民間でできるものは民間に委託し、行政経費を圧縮したいというところで設定した K P I であるが、K P I を途中で変更することも難しい。
委員	施設管理を具体的にやりたいという所はあったのか。
企画課長	実績では道の駅が出来たことにより、1カ所増えた。現状としては、指定管理に合致した施設がないこと、また、益子町は施設が極端に多いというわけでもない。
委員	大きな自治体では体育館に指定管理者制度を導入しているところもあるが、町の現状の体育館が非常に使いやすいし、職員さんもよくやっているため利用者としては、このまま維持して頂きたいという思いもある。
総務課長	今後、平成館がどうなるかというところが考えられる。
委員	この K P I の見直しは課題であると認識している。
企画課長	K P I の見直しを含めて検討していきたい。
	<u>○P.66 施策1 職員の人材育成</u>
委員	業務提案は結構出されているようだが、採用されていないというのはどのようなことか。
総務課長	良い提案だと思うものがあるがコストの面などで採用できていない。この他にも、職員提案という制度があり、研修参加者のグループと一般募集により出された提案を行政事務合理化委員会で審査し2件採択された。ラインスタンプの販売とカウンターに杖ホルダーをつくるというものである。
委員	提案の募集と委員会開催はどのくらいの頻度で実施されているのか。委員会を通さないと採択にならず、随時提案はされないのか。杖ホルダーは経費もさほどかからないものなので、職員が日々考えていることをすぐに提案できる仕組みを整えていけるとやる気にもつながるのではないか。委員会を通すとなると提案のハードルが上がってしまうと考える。

委員	行政なのである程度の枠から出られないという事もあるかと思うが、すぐに提案、採用されることは働く側からすると意欲につながる。教育としては意義があるので、継続して行ってほしい。また、行政評価システムの入力作業は大変か。
企画課長	大変かと思う。PDCAサイクルの検証の基礎になるものなので、詳細まで入力する必要がある。
委員	なるべく簡潔にしないと、入力自体が仕事になってしまう恐れがある。
委員	<u>○P.67 施策1 公共サービスの新しい担い手の支援</u> 事前質問8はどのようなことか。
企画課長	「町民活動支援センター」は、現在の新未来計画内での位置づけでは「暮らし分野・移住定住に関する施策」であるが、人口における社会増減というKPIにもつながりにくい行動であり、「地域づくり・まちづくり」という行動内容からすると経営体分野での位置づけが適切かと考え、移し替えをしてはどうかという提案である。
委員	支援センターは予定では7月上旬のオープンと聞いているが。
企画課長	子ども子育て支援施設のことかと思うが、予定通り進んでおり、現在は外構や備品購入について進めている。
委員	町民大学から支援隊が発足されたがどのような関わり方か。また、センターは町の直営か。
生涯学習係長	基本的には支援隊から提案するというよりは、センターのお手伝い、ボランティアという事になっている。詳細は今後の運営方針に従い詰めていくことになる。
委員	<u>○P.68 施策2 地域の「ちから」の結束への支援</u> コンテストの応募は何件か。
企画課長	5件である。
委員	花いっぱいコンクールの植栽アドバイザー制度の周知はすでにされているのか。
生涯学習係長	自治会長会議時にPRを行った。
委員	花壇をやられている方に直接通知されることはないのか。

生涯学習係長	花いっぱい運動コンクールの参加主体は自治会であるため、代表者である自治会長にお伝えしている。
事務局・税務課長	(3) 新ましこ未来計画の一部改訂について 資料に基づき説明し、意見等特になし。
委員	(4) その他 先日の町長選挙では図書館建設についての記載が公約にあったが、その後委員会を組織するなどの動きはあるのか。
総務課長	まだ就任して1か月であるのでこれからであると思う。
生涯学習係長	町長からは、図書館建設の機運醸成と合意形成を得るため、委員会等の組織を立ち上げて進めるように指示があり、今後動き出す予定である。
	5. 閉会

新未来計画 事前質問・回答一覧(平成29年度 下半期)

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
1	総括 シート	総務部長	①新ましこ未来計画推進シート(総括シート)本文中、財産収入の目標額が1,000万円とあるが900万円ではないか。	①について 平成29年度の財産収入の目標額は1,000万円ではなく、900万円が正しいため、ホームページ公表時に総括シート内文言を訂正する。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
2	63	企画課	①下半期以降の改善点について、ふるさと納税専門誌に広告記事を掲載して増額を図りたいとあるが、どうだったのか。 ②民間業者と協議し新しい返礼品が開発できたのか。 ③条例では4通りの用途が明示されているが、今後用途について変更や追加を行う予定はあるか。 ④納税者からの応援メッセージなどがあれば知りたい。また、これまでに町民などに公表しているか。 ⑤担当者からのおすすめコーナーや季節のお知らせはとても良い取組と考える。この発信後の反応にはどのようなものがあったか。 ⑥革製品や塗り物など、益子のクラフトの返礼品に対する反応はあったか。	①について 平成29年11月1日発行のふるさと納税専門誌「ふるさと納税ニッポン！」に広告記事を掲載したところ、翌日から発注数が増え掲載された返礼品の中には前年度42件だったものが122件に伸びたものもあり、一定の効果があつたと考えている。 ②について 革製品（ポーチ、財布、ショルダーバック、ラウンドバック）、ドリップコーヒー、スイーツ（とろたまプリュレ）、益子焼（楕円小皿、パスタ皿、めし杓）、基礎化粧品（ハンドフォーム）を新返礼品として提供出来た。 ③について 用途については、変更や追加は特に予定していない。 ④について 応援メッセージについて、ふるさとチョイスというネットの申込システムでのご回答となっている。「毎年陶器市に伺ってますが、年々人出が増えてにぎわっている様子を見て、とてもうれしく思っています。これからも素敵な街づくりをしてくださいね。」「最近素敵なカフェやショップがどんどんできて、自然も多く残る益子はとても魅力的な観光地だと思います。これからも益々のご発展を期待して、納税させていただきます。」「毎年益子町にふるさと納税しています。益子町は陶器以外でも魅力がたくさんあります。その魅力をふるさと納税の商品でうまく伝えたいと思います。」「などシステムのやり取りの中で113件のメッセージをいただいている。これらは寄付者へのPRチラシにはメッセージの一部として紹介しているが、町民へメッセージの公表はしていない。 ⑤について こちらでも申込システムの中のコーナーとなっていたが、システムリニューアルのため現在は町の最新情報という形で情報提供をしている。申し込みに直接影響しているかは判別が難しいが、町や返礼品のPRの一助になっている。 ⑥について 革製品については昨年の11月に登録したところ31件の申し込みがあり、まずまずの出だしであった。塗り物については、最近追加したばかりなので、これからと考えている。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
3	63	税務課	①新税率によって軽自動車税の徴収率が前年度同期比(3月末)0.85ポイント減になったとあるが、新税率になりどのくらい税金が上がったのか。	①について 平成28年度から新税率が適用されたことで、納付するべき税金は平成27年度が54,620,400円、平成28年度が68,281,600円で13,661,200円増加した。また平成30年3月31日現在は71,094,600円で平成27年度から16,474,200円増加している。なお、税率改正内容は別添資料のと参照願いたい。
4	64	企画課	①連結対象団体とはどのような団体であるのか。 ②「連結財務書類については、連結対象団体で未作成の団体があった」とあるが未作成であった理由どのようなものか。また、未作成・未提出でも問題ないのか。	①について 地方公共団体と連携協力して行政サービスを実施している関連団体のことで、益子町では「栃木県後期高齢者医療広域連合」「栃木県市町村総合事務組合」「芳賀中部上水道企業団」「芳賀地区広域行政事務組合」「芳賀郡中部環境衛生事務組合」「栃まじこカンパニー」の6団体を連結対象団体としている。 ②について 総務省では、上記関連団体も含めて平成30年3月末までに財務書類を作成することとしている。未作成の団体とは、町で連結財務書類を作成する時点で未作成のため連結できなかった団体である。この団体にについても3月末では作成しており問題は無いと考える。 ただ、誤解を招くことも考えられるため、公表時には推進シートを次のとおり訂正する。 訂正前:「連結財務書類については、連結対象団体で未作成の団体があつたためすべて連結することができなかった。」 訂正後:「連結財務書類作成時点において、連結対象団体で未作成の団体があつたためすべては連結することができなかった。」

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
5	65	総務課	①自己申告書(異動希望)について、異動希望者は何人位いるのか。また、その主な異動希望理由はいかなるものか。 ②再任用継続希望取得とはどのようなものか。 ③「臨時的任用職員では対応が難しい業務も多く」とあるが、臨時的任用職員が従事できる職務が明確にわかるような職務分掌はあるか。	①について H29年12月に行った調査において、異動希望者は20人であった。異動を希望する理由で最も多かったのは、「将来のため多くの職場を経験したい」というものであり、それに続くのが「現職が適していないと思う」、「対人関係の点から異動したい」、「現職が長い間」などとなっている。 ②について 再任用は満65歳を迎えた後の最初の3月31日が制度の上限になるが、任用については1年更新であるので、更新前に、再任用職員本人からは次年度継続の意思確認を、所属長からは勤務状況についての意見聴取を行っている。 ③について 臨時的任用職員については、専門職などを別とすれば事務補助が主なものであり、行える業務に制限がある。職員の指示に従ってのデータの入力や資料作成などは出来るが、臨時的任用職員が起案、予算執行、業務に対して自ら判断することなどは行っていない。事務分掌としての区分ではなく責任を負わせることが適当ではないという文意である。
6	65	企画課	①「活動指標や成果指標(KPI)などの考え方を各課と調整」とあるが、どのようにして円滑に調整することが出来たか。	①について 実施計画にアライング時に、入力シートを使って各課の対象事業の内容や予算額、成果指標(KPI)への対応策について円滑に確認と調整を行うことが出来た。
7	66	総務課	①研修参加職員の政策提案・業務改善提案はどのくらい提案されたか。また、提案された内容は業務に反映されたか。 ②業務改善・政策研究のための発想力提案向上研修について、研修の効果が出ていると思うが、いままでに何人の職員が受講したか。また、今後継続的に実施されると思うが、受講メンバーの選定はどのように行われているのか。(例：階層別、年功別等。企業では、階層別に行われ、昇格要件の一つになっている)	①について 提案は2年間で18件あったが、コストや専門技術職など人材の問題、既に実施している事業と内容が近いものなど、様々な理由で業務に反映されたものは現在ない。 ②について 研修参加者は昨年度までで27名である。メンバー選考は、今後町業務のリーダーとなっていく者として、採用から2年目・5年目・8年目の職員を参加させている。 また、研修の効果については、参加者が今後町職員として業務を行う中で、その時々々の判断や施策決定に活かされていくものと考えている。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
8	67	企画課	①支援センター先進地視察について、第3四半期に実施予定の先進地視察は実施されたか。また、その結果どのようなになったか。	①について 平成29年度行った支援センター先進地視察については、県庁主催・県内市町対象で8月につくば市・筑西市への視察を行い、総務課・企画課・生涯学習課職員が出席した。 平成30年3月に行った関係課打ち合わせにおいて、支援センターは設置の方向で再確認をしたが、設置場所については既存施設の改修のほか、今後の公共施設整備を踏まえて幅広く検討していくこととした。 なお、支援センター設置については平成29年度までは暮らし分野の具体的行動であるが、経営体「政策3 町民主体のまちづくり」において今後の行動していくことにより、他の具体的行動と相互に関連させていくことができることから、具体的行動の移替えについて委員会当日にご意見を頂戴したいと考えている。
9	67	健康福祉課	①ファミリーサポートセンターについて、事業内容の周知に重点を置いた広報の成果はどうであったか。 子ども子育て支援拠点施設に関する2問 ②現時点の状況と今後の予定はどのようなになっているか。 ③益子町子どもの読書活動推進計画が策定されたが、拠点施設ではどのように推進・連携していくのか。	①について その後、広報はしていない。内容の見直しをしている。その理由は、本年7月上旬にオープン予定の子ども子育て支援拠点施設において広報を行うこととしており、それに対応させるため。この施設での広報であれば、利用したい方に直接お知らせができるうえに、この施設でボランティアを行っている方だけの方に提供会員についての説明もでき、効果が高くなると考えている。 また、ファミリーサポートセンター事務もこの施設で行うことにすれば、その場で申し込みをすることができるうえに、土日も開業しているため、利便性も高くなり、さらに会員増加に対する効果が高くなると考えている。 ②について 平成29年度中に本体工事は完了。現在は外構工事と備品の整備を行っている。工事の状況にもよるが本年7月上旬のオープンを予定している。 ③について 子ども子育て支援拠点施設には図書スペースを設け絵本などを置くこととしている。また、読み聞かせ教室なども実施し読書活動の推進を行う予定をしている。

質問 番号	新未来 計画 ページ	担当課	事前質問	回答
10	67	高齢者支援課	①七井の団体について、七井の団体に対する取組が1年が過ぎたように思われるが、どのような団体へと発展していくことを望んでいるか。 ②推進シート第3四半期④欄に「町民大学生の意思形成についても考えていく」とあるが、具体的にどのようなことか。	①について 将来的に町内の高齢者を様々な面から支援する活動も行う団体への昇華を望んでいるが、当該団体の組織としての運営がまだ脆弱であり、体制整備には、なお相当数の時間を要すると考えられる。今後も団体の活動状況等に注視していきたい。 ②について 高齢者の生活を支援していくために、各地域において母体となる組織づくりが求められている。それらの組織を牽引する役割を町民大学で培ったリーダーシップを発揮し、町民大学生や町民学士の方に担っていただきたいと考えている。まずは、組織づくりに繋げるために高齢者を取り巻く諸問題に関心を持っていただこうにしたい。
11	67	観光商工課	①関係各課情報交換について、関係各課との情報把握はどのように行っているのか。	①について 具体的な案件がなかったため、行わなかった。
12	68	企画課	①推進シート⑥欄に「各団体あて直接パンフレットを送付する」とあるが、直接送付されたのか。また、それによって周知されたか。	①について 平成30年度地域創生活動費補助制度の実施要綱(パンフレット)を町内団体33団体あて4月上旬に送付した。5/11現在、1団体からの申請受理・交付決定を行った。また、別の2団体から相談があったが、制度趣旨(通年で行っていく活動への支援)にない案件(単発イベント)と、制度の内容の確認したいという案件であった。